

令和8年度兵庫教育大学教員研修プログラム

知っておきたい！防災・減災－台風・高潮，地震・津波，地球温暖化－アンケートまとめ

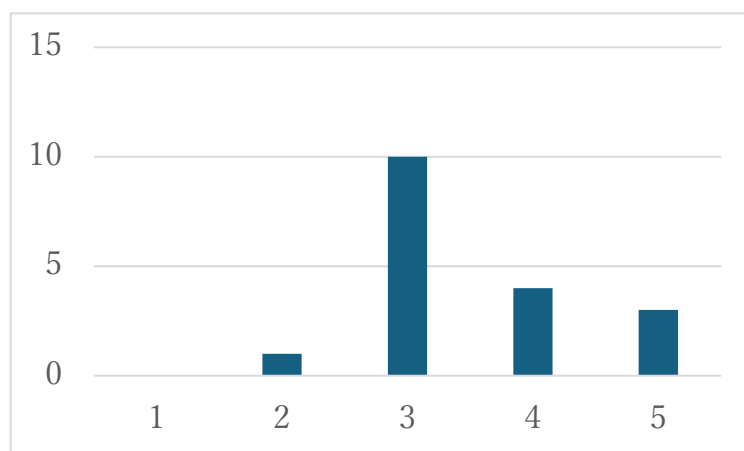
開催日：2026年8月4日

参加者：14名（小学校：6名 中学校：5名 高校：1名 特別支援学校：2名）

特別支援学校の先生以外でも，特別支援を担当されている先生が3名，防災担当の方が2名いた。数学1名，理科3名，社会2名，技術家庭1名

定員：20名

1. 受講した理由



1. 受講した人から勧められて
2. 会場へのアクセスが良いから
3. 講義だけでなく，見学や実習などがあるから
4. 申込サイトでたまたま見つけて
5. その他（講座内容に興味関心があった，最新の防災に関する知識を知りたかったから，災害に関心があったから）

図1 講習の受講を選んだ理由（N=14）

この講習の受講を選んだ理由としては、講義だけでなく、見学や実習があるという回答が多かった。

2. 講習内容で評価できること

数式を交えた説明で，これまで知っていた知識がよく整理できた，と直接コメントを頂いた。

- とてもわかりやすく説明していただき，よく理解できた
- 津波高潮ステーションの見学の際，解説しつつ周っていただけたのでよかった。
- 津波と高潮の違い，そのメカニズム，これからできること，注意すること
- 津波波形の伝わる速さなど数式を使って紹介してもらえた
- 施設見学に加え，詳しい解説があったので，高潮，津波，地震，台風などを改めて学ぶことができた
- 防災や人々の命を守るためには科学的な根拠があって警報や予想などが出されていること
- 中学校の学習でリアス式海岸の波が高くなる理由などを教えていたが具体的なメカニズムがわかりよかった
- メカニズムから情報的な所まで色々な角度から学べたのはよかった
- 津波や高潮のしくみなどについて，知識を深められた

- 先に施設の見学をしたことで興味がわいた
- 自然災害から身を守る術、過去の災害から減災につなげる。
- 高潮防災施設のはたらきや、シアターで津波体験を見られたのが、すごくわかりやすかった

3. 内容で改善すべきこと

- 今日の内容を学校でどう指導に生かせるのか学べたら、よりよい研修になると思う
- 全体的に内容が少し難しかったが、午前中の見学で説明していただけたので少しは理解できた
- 内容の事ではありませんが、手元の紙資料が多かったので、QR等で読み取れるようにしていただけると嬉しいです。

4. 今後受けてみたい講習内容

防災学習（地震）への関心は高いが、他の項目はほぼ横並びである。

- 防災学習や学校防災について
- 防災教育の実際について、兵庫県人と防災の未来センター
- 神戸の歴史など
- 教材作成の方法
- 校務につき関空、明石に行けなかったので来年も開講希望です
- 稲村の火の館（パンフレットを見つけて気になりました）

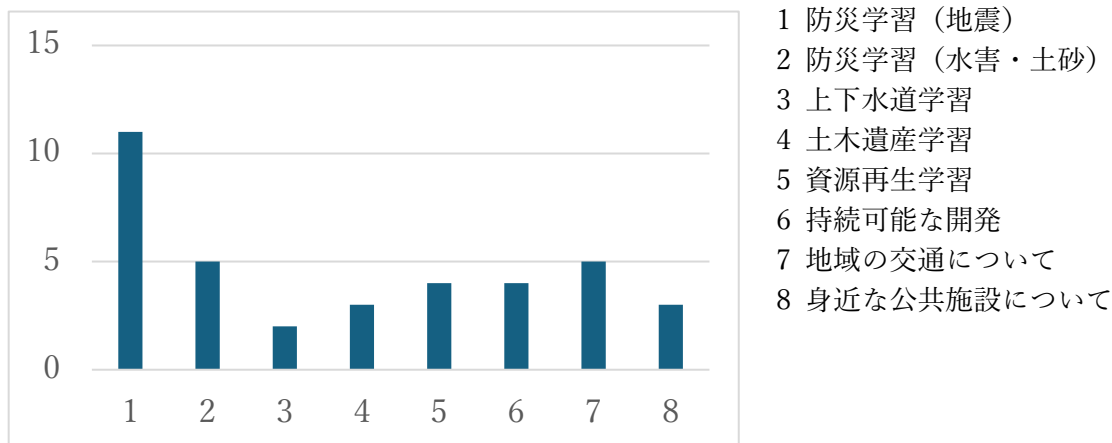


図2 受けてみたい講習内容（N=14）

- 気候変動に関する施設
- 勤務校が山間部なので水害（洪水）や土砂災害について学んでみたい

5. 土木に対するイメージ

- 森や林などで作業する・・・というイメージが土木というところがありましたが、もっと幅広い分野で、イメージが変化しました
- 建築のイメージが強かったですが、防災・減災とも関わりがあると分かり興味深かった

- 土木を学んだ方がどういう所で活躍されているかわかった
- 工事や治水関係の事だと思っていた
- 昨年度も参加（中堅研）させて頂きましたが、それも含めて生徒の将来のために必要だなと思った
- インフラを支えることですので、皆よく理解しておくことが大切だと思います
- 肉体労働なイメージがあったが、頭を使って考えることが多いと感じました
- 土木がこんなに自然災害と結びついていることを初めて知った
- 受講前は必要な職種ながら手が少ないと思っていた。様々な学科から多様に関わる分野とわかった。
- 社会のインフラを支えるというイメージ。講習で社会の安全をいかに守ってくれているのかがわかった。